

山形大学人材育成プログラム - i-HOPE - 新事業創出イノベーションプログラム



山形大学
学生の
皆様へ

フィールドワーク、社会人とのチームワークはありませんが、山形大学では以下の科目を開講します。受講の際に参考としてください。

①「共創アントレプレナーシップⅠ」

(社会共創デジタル学環専門教育科目・前期2単位)

②「アントレプレナーシップ養成イノベーション特別講義」

(工学部専門教育科目・前期2単位、オンライン)

※「①」は、全学部全年次の皆様が受講でき、学環以外の皆様は自由選択科目として履修が認定されます。

※「②」は、他学部の学生及び大学院生も受講可能です。
問い合わせは、下記担当まで

新事業創出に必要なプロセスを

山形で歩む8ヶ月



01

緻密に系統だった
事業構築プロセス

イノベーションマインド
と経営者視点を育成

02

地域へ没入する
フィールドワーク

地方創生に必要な視点
を育成

03

学生と社会人、異業種
でのチームワーク

かけがえのないネット
ワーキングを実現

受講期間: 2025年5月10日(土)~12月20日(土) ※隔週土曜日開講

受講形態: 現地(山形大学)とオンラインのハイブリッド

※全ての講義をオンラインで受講できるため、山形県外からでも受講可

※フィールドワークのみ現地参加が必要



お申込み

対 象: 社会人の方、学生の方

※本プログラムでのご経験をご所属先での新事業創出や業務改善にお役立て
いただきたいため、社会人の方には主に企業・団体様を通じて紹介しております。

受 講 料: 社会人55万円、学生5万円(税込) ※フィールドワークの宿泊費・食費を含む

お申込み: 2025年4月21日(月)迄 <https://x.gd/DLa5A>

※当センターHPからもお申込みいただけます。 <https://yu-entrepreneur.yamagata-u.ac.jp/>

お問合せ: 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 担当: 丸尾

電話: 023-628-4075 メール: yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

2025年度 カリキュラム ※一部、日程及び講師を調整中の講義があり、変更となる場合があります。

- 開催形態: 現地とオンラインのハイブリッド開催 ※毎回、どちらかお選びいただけます。
※フィールドワークは**現地参加必須**です。
- 現地会場: 山形大学小白川キャンパス(山形市) 基盤教育3号館 322教室
- 講義時間: 1コマ 10:45～12:15 2コマ 13:15～14:45 3コマ 15:00～16:30
- 修了要件:
- ①「**必須**」講義のリアルタイムまたは欠席時のアーカイブ視聴での**全受講**
 - ②**全講義の50%以上**のリアルタイム受講(23コマ/全46コマ中)
 - ③**チーム**でビジネスプラン作成、資料提出、最終発表を行うこと
- ※チームは7月に予定している第1回目のフィールドワークへ向けて、開講当初から行う「グループワーク」の講義で編成する予定です。

日付	講義No.	必須	講義	講師
5/10(土)	1-1	○	オリエンテーション 基調講演	小野寺忠司 ゲスト講師(調整中)
	1-2	○	ケーススタディ ～意思決定とコミュニケーションの罫～	廣川克也
	1-3	○		
5/24(土)	2-1	○	ビジネススプリングボード①～未来を描く、課題に向き合う～	菅生達仁
	2-2	○	フィールドワーク先である尾花沢市からの説明	尾花沢市総合政策課
	2-3	○	グループワーク①～課題の仮説を相互検討する～	菅生達仁
6/7(土)	3-1	○	地域産業と地域経済の基礎	吉原元子
	3-2	○	ビジネススプリングボード②～価値を確立する～	菅生達仁
	3-3	○	グループワーク②～解決方法の相互検証を行う～	菅生達仁
6/21(土)	4-1	○	失敗事例共有会	小野寺忠司
	4-2	○	ビジネススプリングボード③～事業を構築する～	菅生達仁
	4-3		グループワーク③～起業仮説を構築し、総合検証を行う～	菅生達仁
7/5(土)	5-1	○	トライセクター戦略①	小松洋介
	5-2	○	トライセクター戦略②	
	5-3		グループワーク④～フィールドワーク手法について～	菅生達仁
7/19(土)	6-1	○	フィールドワーク①～現地視察、チームワーク、チーム発表～	尾花沢市の方々 ゲストメンター
7/20(日)	6-2	○		
8/2(土)	7-1	○	「カーボンニュートラル」における社会動向	山田英司
	7-2	○	ビジネススプリングボード④～チャネルとプロモーション～	菅生達仁
	7-3		グループワーク⑤～製品・サービスの検討～	菅生達仁
8/23(土)	8-1	○	マーケティングの最前線	白根有一
	8-2	○	社会共生マーケティング	兼子良久
	8-3		グループワーク⑥～go to marketプランの検討～	菅生達仁
9/6(土)	9-1	○	意味のイノベーション	廣川克也
	9-2	○	起業家パネルディスカッション～スタートアップ編～	起業家/菅生達仁
	9-3		グループワーク⑦～フィールドワーク及び中間発表準備～	菅生達仁
9/20(土)	10-1	○	フィールドワーク②～現地視察、チームワーク、チーム発表～	尾花沢市の方々 ゲストメンター
9/21(日)	10-2	○		

2025年度 カリキュラム ※一部、日程及び講師を調整中の講義があり、変更となる場合があります。

日付	講義No.	必須	講義	講師
10/4(土)	11-1	○	いい会社とは、何か	江口耕三
	11-2	○	ベンチャーファイナンス	菅谷常三郎
	11-3		グループワーク⑧～収益モデルを構築する～	菅生達仁
10/18(土)	12-1	○	デジタルソリューションの今	古宮浩之
	12-2	○	強いチームを作る	Adam Kassab
	12-3		グループワーク⑨～事業の実現～	菅生達仁
11/1(土) 11/2(日)	—	任意	グローバルコミュニケーション(合宿形式)	莉々紀子
11/8(土)	13-1	○	Idea,Passion,Start with WHY	マンジョット・ベディ
	13-2	○	劇団四季メソッド～表現の極み～	原彩子
	13-3	○	実践的知的財産活用術	田中雅敏
11/22(土)	14-1	○	オーセンティックリーダーシップ	小野寺忠司
	14-2	○	起業家パネルディスカッション～地域企業編～	起業家／菅生達仁
	14-3		グループワーク⑩～POCまたはプロトタイプの検討～	菅生達仁
12/6(土)	15-1	○	グローバル戦略	川島健一
	15-2	○	起業の実例	戸田達昭
	15-3		グループワーク⑪～最終発表準備、ブラッシュアップ～	菅生達仁
12/20(土)	16-1	○	ビジネスプラン最終発表会	—
	16-2	○		
	16-3	○		

【ビジネススプリングボードとチームワークについて】

7月の第1回目のフィールドワークに臨んでいただくにあたり、現地での課題抽出やその課題を深掘り、真のターゲットの真のニーズに辿りつくことができますよう、フィールドワーク前の講義で「ビジネススプリングボード」というビジネスフレームワークを用いて、ビジネスを考えるための基本的な思考の枠組みを徹底して身につけていただきます。

その過程で作成される「ビジネススプリングボードシート」の内容を吟味し、チーム編成を行った上で、フィールドワークに臨んでいただき、以降、そのチームでビジネスプランの作成を行っていただきます。

【ビジネスプランについて】

山形県尾花沢市でフィールドワークをチームで行っていただき、そこで抽出した課題を解決するためのビジネスプランをチームで作成いただきます。

尾花沢市は、他の市町村同様に人口減少が続いている、東北地方で最も人口が少ない「市」で、過疎地域にも指定されています。

このような地域で成り立つビジネスを考えることはとても困難で、だからこそ、フィールドワークによる精緻な一次情報の収集方法、メンバー間での綿密なコミュニケーションによるチームビルド、事業経験豊かな講師やメンターの厳しい指摘にも挫けずに、時には柔軟にプランを見直しながらやり抜く強い意志の形成など、新事業創出に必要な力を身につけていただけます。

2025年度 講師一覧 ※一部、講師を調整中の講義があり、変更となる場合があります。



廣川 克也 (ひろかわ かつや) 氏

山形大学客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー



吉原 元子 (よしわら もとこ) 氏

山形大学 人文社会科学部 准教授



小松 洋介 (こまつ ようすけ) 氏

(株)VENTURE FOR JAPAN 代表
特定非営利活動法人アスヘノキボウ 理事



山田 英司 (やまだ えいじ) 氏

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
専務執行役員



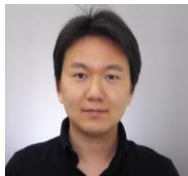
白根 有一 (しらね ゆういち) 氏

クリエイティブディレクター・マーケティングコンサルタント
元ジオルダン株式会社 戦略企画部長
元(公社)日本マーケティング協会 研究開発局長
元(株)電通EYE 常務取締役



兼子 良久 (かねこ よしひさ) 氏

山形大学 人文社会科学部 教授



江口 耕三 (えぐち こうぞう) 氏

鎌倉投信(株) 創発の蒼ファンド責任者



菅谷 常三郎 (すがや つねさぶろう) 氏

山形大学客員教授
みやこキャピタル株式会社 代表取締役
元JAFCO Ventures President & CEO



古宮 浩行 (こみや ひろゆき) 氏

株式会社BeeS 代表取締役社長
SCSK株式会社 エバンジェリスト



Adam Kassab 氏

アマゾンジャパン合同会社
Learning & Talent Development



マンジョット・ベディ 氏

アントレプレナーシップ教育研究センター 招聘講師
(株)Just on time 代表取締役社長
(株)next is east 代表取締役社長



莉々 紀子(りりい のりこ) 氏

株式会社リリース・トランスポート
代表



田中 雅敏 (たなか まさとし) 氏

明倫国際法律事務所
弁護士・弁理士



原 彩子(はら あやこ) 氏

元劇団四季シンガー
ボイストレーナー



戸田 達昭 (とだ たつあき) 氏

山形大学客員教授
シナプテック(株) 代表取締役 CEO
ヴィジヨナリーパワー(株) 代表取締役CEO



川島 健一 (かわしま けんいち) 氏

山形大学 客員准教授
Lenovo Executive Director



小野寺 忠司 (おのでら ただし) 氏

山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター長



菅生 達仁 (すがおい たつひと) 氏

山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター
副センター長

山形大学人材育成プログラム - i-HOPE - 新事業創出イノベーションプログラム



新事業創出に必要なプロセスを
山形で歩む8ヶ月

2024年度 受講者の方々の声

一部をそのまま掲載
し、紹介いたします。

【受講を通して身についたことは？】

- ①ビジネスを起こすための基本的知識、考えるべきこと、心構え、ハードルの乗り越え方、協力者の見つけ方。
- ②対象顧客は誰なのか？を、そもそもの課題とズレないように考えること。
- ③ニーズの深堀りと、「真のニーズ」に対してアプローチする方法。
- ④体系的に事業構想をするということ。
- ⑤コンフォートゾーンから抜け出し、様々なシーンでマインドセットが出来たこと。
- ⑥チームメンバーの様子を伺いながらのグループワークでしたが、中盤から全員が同じゴールを目指し課題解決に取り組めたこと。
- ⑦今までは「こんな仕事がしたい」というイメージが薄かったが、「こんな仕事がしたい」というイメージや、どんなふうになりたいか？を考えるようになった。
- ⑧誰もが誰かに価値を提供できるという確信を得た。

【お仕事や日常生活で実践されていることは？】

- ①まだ完璧なプランではないが、来年以降の事業実施目途も立ち、新事業創出までたどり着いた。
- ②仕事で設計しているプロダクトについて、受講前はスペックばかり考えていたが、受講後は顧客に提供している価値も考えるようになった。
- ③いい組織、いいリーダー、いい会社について考えることが習慣づいてきた。
- ④部署間を跨いだ社内交流。社内においても縦割りではなく横連携が必要だと認識し、積極的に交流しております。
- ⑤新たな取組や仕組み変更の際に何が価値か、課題は何だったかを意識しています。
- ⑥計画通りに行かないのは失敗ではなく「学び」。やるかやらないかの違いは大きいのでどんな小さなアクションでもやるようになった。
- ⑦講義で学んだことを、育成のために、メンバーに話すようになりました。
- ⑧これまで接する機会のないような人と接してきたため、コミュニケーション自体がしやすくなりました。

山形大学人材育成プログラム - i-HOPE - 新事業創出イノベーションプログラム



新事業創出に必要なプロセスを

山形で歩む8ヶ月

2024年度 受講者の方々の声

一部をそのまま掲載し、紹介いたします。

【プログラムの「ここが良かった！」と思った点は？】

- ①そもそもなぜアントレプレナーシップが必要か？新規事業が必要か？を学べた点。
- ②普段聞くことのできない、一流の講師陣のお話を聞くことが出来たこと。
- ③Web受講も可能で、スケジュールに合わせやすかった。
- ④普段知り合えないような、様々な業種の方と知り合えるところ。
- ⑤フィールドワークを通じて現地の方々とリアルで話すことができたのが良かった。
- ⑥グループワークが多かった点です。固定のチームに限らず、他のたくさんの方とチームビルドを図ることができました。
- ⑦受講に相当な時間をとられますが、学生が5万円で受講できるのは、内容を考えると破格と思いました。
- ⑧私の娘に受講させたいと思いました。学生時代からコンフォートゾーンをぶち破るきっかけがあると、その先の未来に変化があると感じました。

【その他の自由記述】

- ①新事業創出のノウハウやマインドを学ぶことができ、私の考え方や行動に大きな影響を与えてくれました。
- ②仕事、育児、大学院の研究との両立は非常に大変でしたが、とても濃密で有意義な時間でした。
- ③これまでに受けたビジネスプログラムの中でもとても良いプログラムだった。
- ④自分の一生の中で、このプログラムを経験出来て良かったと思っています。このような世界を知らずに過ごすのは損だと思いました。
- ⑤学生の方でも素晴らしいアイデアを持つ方やすでに起業されて、積極的に活動されている方の話も聞いて勉強になりました。
- ⑥山形の四季の美しさやグルメなど山形の魅力に触れることができました。